

EEM380 建築史

4年 1,2クォーター

担当教員 山田 岳晴

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 要素を含む

単位数 2

授業概要

「建築」は地域・時代の生活・文化を背景に成り立っています。それら日本及び世界の建築の「意匠（デザイン）」や「構成」の特性を理解します。それらがどのように変化したか・発展したかを理解します。建物の特徴が現代にも繋がっており、時代を超えて共感が持てる「意匠（デザイン）」や「建築美」となることを学び、地域の特徴が世界視点となることを学び、自然と風土を生かした建築構築の知識を習得します。建築部材の実物に触れるなど学生の積極的な学習参加により、現在流布している諸説を見直し、体系的に建築文化を理解します。

到達目標

授業による学生の達成目標は以下の通りです。

- ①人々が育んできた建築の「意匠（デザイン）」と「構成」を理解します。
- ②建築の「意匠」や「構成」がどのように変化したか・発展したかを理解します。
- ③時代を超えて共感が持てる「デザイン」や「建築美」を学び、建築という「ものづくり」に生かせる知識を習得します。
- ④建築部材の実物や最新の研究成果に触れ、建築文化の本当のすがたを理解します。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

参考書

日本建築学会編『日本建築史図集』新訂第三版, 彰国社, 2011

日本建築学会編『西洋建築史図集』三訂版, 彰国社, 1983

授業の方法

毎回、図面や写真、絵画など、多くの視覚的資料を提供します。

各回完結で学生が体験することを取り入れた講義を基本とします。

授業の理解度を確認し、理解促進と補完の観点から、毎回、一言（感想・質問等）カードを配布します。

学生の習熟状況・最新の研究動向に応じて、授業内容は柔軟に扱います。

成績評価

成績評価の方法は以下の通りです。

授業姿勢と小レポート：文化財建造物を任意に選択して見学し、授業で学習した知識を活用して規模形式・特徴などをレポート

期末試験：授業内容に即した文章の記述を求める筆記試験

成績

授業姿勢と小レポート：30%

期末試験：70%

授業スケジュール

第1回：建築史総合	意匠と構成の特質と繋がり
第2回：日本建築史(1)	竪穴・高床住居／寝殿造
第3回：日本建築史(2)	書院造／数寄屋造の登場
第4回：日本建築史(3)	茶室
第5回：日本建築史(4)	民家建築
第6回：日本建築史(5)	神社建築
第7回：日本建築史(6)	城郭建築
第8回：東洋建築史(1)	寺院建築（中国・朝鮮・日本）
第9回：東洋建築史(2)	塔（インド・中国・朝鮮・日本）
第10回：西洋建築史(1)	エジプト建築／ギリシア建築／ローマ建築
第11回：西洋建築史(2)	ビザンティン建築／ロマネスク建築
第12回：西洋建築史(3)	ゴシック建築
第13回：西洋建築史(4)	ルネサンス建築
第14回：西洋建築史(5)	バロック建築／ロココ
第15回：西洋建築史(6)	近代建築

事前・事後学習

【事前学習】

授業に登場する建物などを授業前に参考書やインターネットなどで見ておくと、より理解が進みます。

【事後学習】

配布した資料を再確認したり、関連することを調べたりすると、応用知識と考える力が養われます。

参考書は完全には授業の内容と一致していないので留意。

事前・事後学習は授業1回あたり3時間以上実施です。